

『江戸川河川事務所 | ICT研修会』を開催

～建設業の担い手確保と地域の建設工事生産性向上をサポート～

“地域インフラ”2017
サポートプラン関東

江戸川河川事務所では工事受注者及び協力会社と連携し、建設業の未来の担い手となる土木専攻の大学生を対象とした現場見学会を開催しました。また、今回はICT工事の更なる拡大に向けて、近隣の地方自治体職員向けのICT研修会を同時開催しました。

- 開催日時 : 平成29年10月17日(火)10:00～16:00、10月20日(金)10:00～16:00
- 参加者 : 東京理科大学:9名(うち学生8名)
千葉県職員:2名、埼玉県職員:1名、流山市職員:2名、吉川市職員:3名
春日部市職員:10名、江戸川河川事務所:22名
- 研修場所 : 千葉県流山市深井新田地先
- 工事名 : H28江戸川管内土砂改良工事
- 講師 : 金杉建設(株)
- 協力会社 : (株)新和測機、(株)アクティブソリューション、(株)PIアサヒ、福井コンピュータ(株)
日立建機日本(株)、コマツ建機(株)、(株)イマギレ、日本キャタピラー(同)



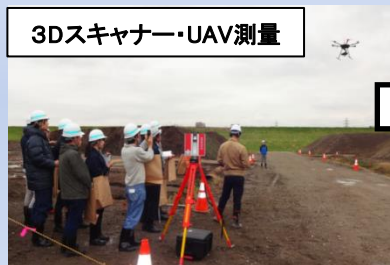
MCバックホウ試乗体験

【研修の実施内容】

- ①UAV(ドローン)による測量
- ②3Dスキャナーによる測量とデータ処理
- ③3D基本設計データの作成方法
- ④MGバックホウ、MCブルドーザGNSS管理タイヤローラの実演及び説明
- ⑤MCバックホウの試乗体験(従来機械とICT機械の比較)
- ⑥『GNSS測量機と従来の測量方法(巻尺・レベル)を用いた土量計測の比較
- ⑦3Dスキャナーを用いた出来形測量と ヒートマップ作成
- ⑧TSを用いた模擬出来形検査

【研修の実施状況】 測量～検査までの一連の流れで実施

3Dスキャナー・UAV測量



3次元設計データ作成



MCバックホウ試乗



出来形検査



【研修の感想(東京理科大学学生)】

- ・実際にバックホウの運転なども行い、女性の私でも簡単に操作できることに驚きました。また、測量技術については、3Dスキャナーとドローンでは、計測や処理の方法がどのように異なるかを知り、今後UAV画像から座標への変換処理能力が向上すれば、土木分野での利用が更に増加すると感じました。
- ・今回の見学では、実際の現場で使われている物に触れることで、ドローン等のICT運用に関する知識を更新できました。このことは、勉強になるだけでなく、とても楽しくワクワクするものでした。また最先端の技術に感動するだけでなく、この分野の普及に日本が出遅れているという危機感と、その対処として日本がICT普及に注力している様子を学ぶことで、日本の現場ののびしろと力強さを感じることができました。

【研修の感想(地方自治体職員)】

- ・ICTの利点や魅力を直に体感できたことが良かった。市町村レベルで活用していくための方法を模索したいと感じた。
- ・身近な業者が技術力向上を目指し、会社を挙げて取り組んでいる姿を確認できたので良かった。